

諫早市教育委員会議事録

平成30年第8回（7月定例）

平成30年第8回（7月定例）教育委員会

1 日 時 平成30年7月25日（水） 14時30分～16時10分

2 場 所 諫早市役所 7階 7-1会議室

3 出席者 教育長 西村 暢彦
委 員 緒方 正親
委 員 大石 竜基
委 員 宮本 峻光

4 会議に出席した事務職員

教育次長	井上 良二
教育総務課長	田島 正孝
学校教育課長	福元 英典
生涯学習課長	藤山 誠治
文化振興課長	吉谷 成彦

5 議題

議案第13号 平成31年度使用中学校教科用図書の採択について

議事録署名人の指名

緒方委員と宮本委員を議事録署名人に指名

議事の非公開

議案第13号は、教科書の採択に関するものであるため審議を非公開とし、採択決定後、採択結果及び審議内容を公開

議事録の承認

- 平成30年第7回（6月定例）教育委員会の議事録について
質問・意見なし
原案どおり可決

教育長等の報告の要旨

1 教育長の報告

- ブロック塀の調査結果と対応について
前回の定例教育委員会での協議に基づき、保護者への説明文書を作成し、各学校へ通知した。
- 台風及び大雨について
7月3日、台風接近のため全学校を休校した。また、7月5日から6日にかけて大雨であったが、特に大きな被害はなかった。
- 熱中症への注意喚起について
7月18日に熱中症への注意喚起について、文書で小中学校長あてに通知した。
- 長崎県都市教育長協議会について
7月19日から20日にかけて、長崎県都市教育長協議会を諫早市で開催した。19日の午後から協議会を行い、20日の午前中は現地視察として、スポーツ施設、工業団地等を視察した。
- 長崎県市町村教育委員会連絡協議会「小委員会」について
7月20日の午後から、長崎県市町村教育委員会連絡協議会の第1回小委

員会を開催し、県教委への要望について協議した。

○万灯川まつりについて

本日7月25日に諫早万灯川まつりが開催される。市少年補導員を始め、いくつもの団体・組織による特別合同巡回を実施する。

○8月1日付人事異動について

本日、8月1日付人事異動の内示があり、7月31日に辞令交付式が行われる。今回は課長補佐級以下の職員を対象に、在課5年以上を中心に実施とのこと。

《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

ブロック塀の調査結果について、保護者に通知した後に、保護者から早急に撤去してほしいなどの要望はあっていないのか。

[学校教育課長]

保護者からの連絡はあっていない。

[教育総務課長]

撤去や改修については、できるだけ夏休み期間中に対応したいと考えている。北諫早中学校だけはプールの塀であるため、プールの使用期間が終わってから対応する予定である。

[委員]

ブロック塀は、鉄筋が入っているかどうか分からないで大丈夫なのか。熱中症について、諫早市の幼稚園、小・中学校でどのような指導をしているのか。

[教育総務課長]

ブロック塀の鉄筋の有無については、専門的な機械を用いたり切断したりして確認することとなる。今後、どのように対処するか検討中である。

[学校教育課長]

全国的に熱中症の事案が発生しているため、再度、校長会を通じて水分の補給、休養、冷却等についての指導を行った。

文科省から運動部活動のガイドラインについて、新たに熱中症の事項を設けるようにとの通知があったので、市の中体連事務局とも相談しながら、早急に作成するように対応したいと考えている。

[委員]

熱中症になるかならないかは、個人差が非常に大きいので、少なくとも共通してわかる科学的データ（温度や湿度）を計測できる温湿度計などを導入して、こまめに注意してほしい。

[学校教育課長]

昨年度、各学校に熱中症計を1つずつ設置した。

[委員]

保育園はおそらく全クラスにエアコンを設置していると思う。それが、学校に行った途端厳しい環境にさらされる。夏休みになるからいいのではないかとといった発想をそろそろ転換していかないといけないのではないかと。むしろ夏休み中でも学校に来たら安心だというくらいの考え方でもって、子どもを守っていくというふうにならないといけないと思う。予算的にエアコンの設置を一斉にはできないかもしれないが、全クラスに設置を目標にしていくべきではないかと切に思う。

[教育長]

暑さ対策について後回しにしてきたわけではない。数年前に扇風機を設置したところである。このたび学校の環境基準が変わったため、市議会でも、この環境基準の改正については検討すると答弁した。現在、教室の温度の計り方や計測期間、回数及び学校規模に応じての変化など細かな調査を行っている。

[委員]

災害の現状を見てみると、学校が避難所として指定されている。今後、学校が教育だけではなく、住民の安全安心のための非難の場所として考えると、それに対応できるようにするための予算措置を要求していかなければならないのではないかと。思う。

[委員]

報告に対しての質問ではないが、検討してもらいたい。
議事録の承認については、資料を事前に送付してもらい確認しているので、誤字・脱字の訂正や表現の訂正について、例えば前日までに申し出をすることにして、何もなければそのまま承認という形をとってもいいのではないかと。思う。

また、中学校の教科書の採択について、議事を非公開とする理由は何か。

[教育長]

議事録の承認について事前に確認をとり、訂正があれば訂正したものを会議に諮って承認をすとして、手続上問題がなければそれでいいのではないかと。

[委員]

発言の訂正について何もなかったらそのまま承認ではなく、会議で承認をとるということは続けていくのか。

[委員]

議長の発言としては、「昨日までに訂正等の申し出が事務局に寄せられていませんが、承認していいでしょうか。」と尋ね、何もなければ承認という形をとったらいいいのではないかと。

[教育長]

次回からそのようにしたい。

[学校教育課長]

教科書の採択について審議を非公開とする理由については、採択に関する基本方針に「静ひつな採択環境を確保する」とある。ただし、採択の透明性は確保しなければならないため、採択結果は公表する。

[委員]

静ひつとはどういうことか。

[学校教育課長]

外部からの刺激がなく、純粹に採択に関する協議ができるということ。

[委員]

傍聴がいても傍聴者には発言権はないので、そういった環境は担保されているのではないかと思うが。

[学校教育課長]

いろんな方から見られることによって、発言に影響を及ぼすことがないように非公開としている。

2 教育次長の報告 なし

《学校教育課長の報告》

○諫早市中心の教育推進プランについて

○諫早市英語教育推進プランについて

[委員]

英語教育について、教師が英検準2級以上、中学生が準3級以上である者の割合が全国的に目標に達していないところであるが、諫早市の状況は。

[学校教育課長]

全国とほぼ同じ状況である。

[委員]

これから先の英語教育は、自分がどういう考えをもってどういうことをどうしたいのか、どう質問したいのかが問題であり、ものの考え方、尋ね方、相手との会話の仕方、それこそが一番重要になってくる。そこが日本の今の教育で抜けているところではなかろうかと思う。

[学校教育課長]

今回の推進プランにも、「生徒の思考が働く授業ができる」という新学習指導要領に対応した授業づくりを入れているところであるが、その部分が委員の意見にも関係するところではないかと思う。昔は、教師が言ったことを子どもにも言わせるといった授業であったが、今は、その場面でどういう英語を使うのが適切なのか、どういう言い方が分かりやすいのかという

思考が働くことを授業の中で取り入れていこうとしており、授業の形態自体も変わってきている。

《生涯学習課長の報告》

○第40回少年の主張長崎県大会について

《文化振興課長の報告》

○長崎県指定文化財への推薦について

《 議 事 》

1 議案第13号 平成31年度使用中学校教科用図書の採択について

学校教育課長説明

※説明は、道徳の教科用図書について委員の閲覧を受けながら実施した。

[委員]

授業時間は、年間何時間か。この1冊を1年間でやってしまうのか。

[学校教育課長]

年間35時間である。今後は教科となるので、1年間で済ませないといけない。

[委員]

長崎県の事柄が多く記載されているのは、採択の理由となったのか。

[学校教育課長]

推薦されている教科用図書については、さだまさし氏の「風に立つライオン」や、パラリンピックに出場した鳥海選手の車いすバスケットのこと、梅谷庄吉氏などが取り上げられているということで、これも推薦の理由となっている。

[委員]

この教科書を何年間使うのか。

[学校教育課長]

基本的には4年間となるが、次の学習指導要領の全面実施が再来年あるので、これが2年間になる可能性はある。

[委員]

評価がしやすい教科書はあるのか。

[学校教育課長]

数値的な評価ができないので、子どもたちの授業を通しての変容を文章化

するという事で評価する。この教科書には「道徳ノート」がついており、このノートに子どもたちの思いを書かせ、変容をとらえて文章で評価できるということも推薦の理由の一つとなっている。

[教育長]

皆で価値観のぶつけ合いをするので、自分はAだと思っていたところが語っていくうちにBかなと思うようになったということを書くようになっていく。答えはAでもBでも構わないが、どういう考え方でそれが移っていったか自分の記録を書いていく。それによって100点か0点かということはないので、真剣に考えているか、誠実に考えていて価値観の変容があったかどうかといったところを教師が評価していく。普通であればワークシートを配るのだが、そうするとずっと取っておかないといけない。このノートだと残るので教師は助かる場所はあるのかなと思う。

[学校教育課長]

道徳のキーワードとしては、人間としての在り方、生き方ということで、本来、人としてあるべき進む道に如何に気付けるかという部分も評価の大事なところだと思う。その一つの行程として、Aという考え方もあるしBという考え方もあるといったところを経験させながら、最終的にはより良い生き方をさせるような教育というか、そういう生き方にもっていきたいというのが道徳の狙いでもある。

原案どおり可決

その他

教育総務課長

定例教育委員会の日程について説明

16時10分閉会